



- ・ 身近なものを使い簡単なゲームをすることで身体機能の改善に役立つことを学びました
- ・ レクは誰のため？わかっていても無塚しい
- ・ 実践例で一つのゲームに多彩なバリエーションがあることが分かった。今までレク＝ゲームだと思い込んでいた
- ・ 利用者・職員が一緒になって季節に合わせたレクの工夫
- ・ 利用者を知る・自分たちを知る
- ・ 誰が主体化
- ・ 今まではゲームをしなければいけないという思い込み
- ・ 口腔に関する話に共感した
- ・ 季節や興味に合わせてレク材料の工夫に感動
- ・ レクの数の多さにびっくり。呼吸に関するレクをまねたい
- ・ 思いやりの種をまけば優しさの芽がでます
- ・ 健康プログラムの実践
- ・ 利用者の声に耳を糧向け一歩ずつ前進したい
- ・ 口腔・嚥下体操目的を持って行い行ったことにより効果・効能がなければならない
- ・ 自分たちの自己満足になっていないか
- ・ ストローを使ったゲームを真似したい

今日の交流会に満足しましたか

⑤ 45      ④ 30      ③ 2

- ・ 他のグループホームの意見を聴けて良かった（多数）
- ・ 皆さんと話せてよかった。もっと時間が欲しかった（多数）
- ・ 自分御ホームは大変だと思っていたが、みんなも同じだと思った。できないではなくどうしたらできるかを考える
- ・ グループホームは大変なんだとみんなで話すことができ良かった
- ・ 他の施設の情報がわかった。自分の施設はレクができていると思った
- ・ 他の施設のレクを聴き参考になった。また、スタッフ全員で参加しているという話を聞いて感心しました
- ・ 利用者主体にと考えているがいつの間にか職員主体になっているのではと反省した
- ・ お互いの情報を交換することで安心したし、頑張りすぎなくてもよいと励みにもなった
- ・ 自分のホームが一番大変だと思っていたが違うことが分かった
- ・ レクリエーションにとらわれずいろんなことを一緒にやっていくことが大切な
- ・ 他のホームの勤務状況

3 研修全般で気になった点

なし

4 今後どのような研修活動に期待しますか

- ・ 移動・移乗介助
- ・ レクリエーションに対して固定観念にとらわれていたことを亡くすことが今回出来たのでたくさんの人にもっと広めて行ってほしい
- ・